

曹青通信 第99号 いわて

発行者 岩手県曹洞宗青年会

惠津森 哲夫

発行所 岩曹青事務局

〒028-3201 岩手県花巻市大迫町内川目 48-29

桂林寺内

TEL:0198-48-2020 FAX:0198-48-4040

題字/宗務所長 海野義清老師

編集/事業部 印刷/奥州市 (株)正和印刷

第40回記念 曹洞宗青年会 東北地方集会 岩手大会

岩手県曹洞宗青年会40周年記念

2015.11.4(水)



メトロポリタン盛岡
NEW WING



第40回記念 曹洞宗青年会 東北地方集会「岩手大会」開催に際し
多くの御寺院様に御協賛、御支援を賜りましたこと篤く御礼申し上げます。

- ◇東北地方集会 岩手大会「記念法要」「記念式典」
- ◇東北地方集会 岩手大会「記念講演」「記念公演」
- ◇第50回みちのく緑蔭禅のつどい
- ◇第一回教養セミナー/教区懇親会
- ◇平成27年度歳末助け合い寒風托鉢

◇第四十回記念
曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」
岩手県曹洞宗青年会創立四十年行持

平成二十七年十一月四日(水)盛岡市ホテルメトロポリタンNEW WINGを本会場に第四十回記念曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」が開催されました。本年は岩手県曹洞宗青年会創立四十年に当り記念法要も行われました。

岩手県曹洞宗青年会創立四十年記念法要は盛岡市報恩寺様を会場に午前十時より行われました。記念法要の導師は岩曹青顧問であり第十一代会長、普門寺住職、熊谷光洋老師が勤められました。創立四十年を迎えましたこととに感謝し報恩諷経を厳修し、続いて青年会会員物故者供養、東日本大震災慰霊法要を行いました。記念法要の会場を快く引き受けて下さいました報恩寺様並びに多くの会員の御随喜を頂きましたことに感謝申し上げます。



〈記念法要導師〉
普門寺住職 熊谷光洋老師



〈大会実行委員長挨拶〉

曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」



〈絡子伝達〉

▽記念式典

本会場であるホテルメトロポリタンNEW WINGでは正午より受付が開始され、午後一時に記念式典が開催されました。式典では今大会のテーマが「喝」であること。発心の原点を省み、さらなる仏道修行、布教教化活動、地域への貢献を実践していこうとする道心を強くし、僧侶としての自覚を持つことが「喝」のテーマであることを伝え、また「東北はひとつ」をスローガンに歩み進めて行く大会となることを会員一同で確認し誓願致しました。来賓祝辞では岩手県曹洞宗青年会の発足当時のお話を聞かせて頂き、また創立四十年を迎えた嬉しさと喜びを祝辞で伝えて頂きました。次期開催県が発表され絡子が伝達されました。次期開催県である宮城県曹洞宗青年会会長より挨拶を頂き、記念式典が閉式となりました。

永代供養・寺院仏具

永代供養墓のお勧め
納入実績 全国各地 御寺院
200ヶ寺以上

▼詳しくはお問い合わせ下さい▼



文化の香りをお届けする

株式会社 宗 像

〒330-0034 埼玉県入間市根岸3-4番地1
TEL 04-2934-7020 FAX 04-2934-7066

盛岡 〒020-0143 岩手県盛岡市上厨川字新田 92-8
TEL 019-648-0099 FAX 019-648-0167

http://www.munakata-web.co.jp E-mail: info@munakata-web.co.jp

ココロ花咲く、ステキな旅を。

お客様満足 100%+αを追求するサービスマインド。
お客様の立場になる「想像力」、プラスαを創る「創造力」。
55年の実績と豊富な経験と知識を駆使して
満員車、満員バス、満員タクシーを運営するトップツアー株式会社。
私たちは、旅を楽しく新しい思い出と感動を生み出す
「旅行インテリジェンス企業」です。

13 年の経験と豊富な経験と知識でサービスを提供する
トップツアー株式会社 盛岡支店
〒020-0022 岩手県盛岡市大通 1-11-13 盛岡フコク生命大通ビル6階
TEL: 019-651-8800 FAX: 019-653-2093 http://www.topptour.co.jp

▽記念講演

青森県恐山菩提寺院代

南直哉老師

午後三時には記念講演が行われました。「授戒の現代の問題性」現代における宗門の根本問題」と題し、青森県恐山菩提寺院代である南直哉老師が講演されました。

南老師は長野県出身、早稲田大学第一文学部卒業後に大手百貨店に勤務するも、一九八四年出家得度、大本山永平寺にて十九年間の修行生活を送りました。送行後、福井県靈泉寺住職となり、青森県恐山菩提寺院代に就任されました。

南老師の講演は今大会のテーマである「喝」に相応しい講演となりました。考えることを諦めてしまったとも言える現代。動もすると多勢が正解であると思いがちになる。南老師は自ら考えることが大事であると話されました。問題性とは、すでに問題になっているところにあると考えさせられました。まさに「喝」となる講演でした。



<南直哉老師>



<記念講演>



<松本哲也氏>



<感動のライブステージ>

▽記念公演

シンガーソングライター

松本哲也氏

午後四時半からは記念公演としてシンガーソングライター、松本哲也氏のライブコンサートが行われました。

岩手県奥州市出身の松本哲也氏。波乱万丈な人生を歩むも歌うことで自らと向き合い、人との出会いを楽しみ、ご縁を大切にしている。松本哲也氏のライブはそんな心を感じられる「生きるライブ」でした。歌声はもちろん、素直な人柄が松本哲也氏の魅力。ライブの合間のトークではネパールでの活動や東日本大震災での物資支援や炊き出しキャラバン「いわて三陸復興食堂」、自身の半生を描いた映画『しあわせカモン』などを話し、ライブ後半では震災を振り返る映像を交え、思いの丈を歌うその姿に感動。とても素敵な記念公演となりました。



株式会社 岩手県北観光

株式会社 ジェイティービー特定パートナー店

[本社] 盛岡
[支店] 宮古駅前、北岩手、久慈、東京
[代理業] 岩手県北バス

盛岡市厨川1丁目17-18 〒020-0124
TEL: 019 (641) 8811 本社
019 (613) 2655 仏教旅行サービス部
FAX: 019 (641) 8844
URL: http://www.kenpokukanko.co.jp/

大本山御用達

御法衣



京仏具

創業1915年

株式会社 松本屋

梅花流法具指定販売店

京法衣 加盟店

電話 075(343)1200(代表) FAX 075(371)4080
e mail: kyoto@matsumotoya.com URL: http://www.matsumotoya.com

◇第五十回

みちのく緑蔭禅のつどい

平成二十七年七月十日(金)～十一日(土)盛岡市は報恩寺様を会場に第五十回目となるみちのく緑蔭禅のつどいが開催されました。記念となる第五十回目のみちのく緑蔭禅のつどい。お陰様で本年もたくさんさんの御随喜御支援を賜り無事に修行することが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。



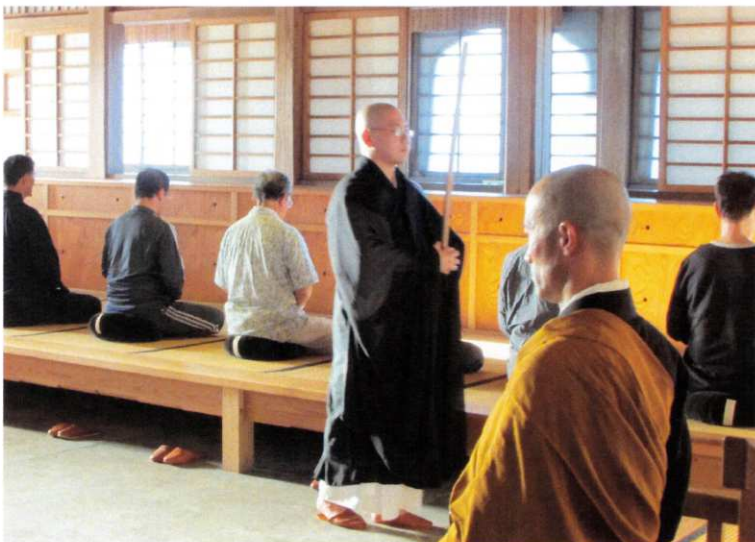
<報恩寺山門前にて 参禅者随喜衆と共に>

今年には県内十三名の参禅者申込みがありました。七月十日、午後三時半の開講式に始まり、引き続き晩課諷経、行持説明をし、報恩寺山門前にて記念撮影。典座係が心を込めて作った精進料理の薬石を頂いた参禅者は坐禅指導に続き夜坐二炷を修行。二炷目には第四教区の海野義範師を講師に有難いご法話を頂戴しました。

二日目の七月十一日は午前四時半振鈴。暁天坐禅に続き朝課諷経。参禅者の皆様も一緒に般若心経を誦経して頂きました。午前六時四十分には小食。飯台終了と同時に普請鼓を合図に作務を開始。小休止の後、午前八時より二日間の緑蔭禅では最後の坐



<喜心 老心 大心>
典座係が心を込めて作る精進料理



<調身、調息、調心 自己と向き合う>

禅。参禅者は直向きに坐禅に打ち込んでいました。普勧坐禅儀をお唱えし、残りわずかな坐禅の時間を過ごす。静かながらも心に強く響き渡る放禅鐘を聞いた参禅者は皆、達成感に溢れたお顔をしていました。坐禅終了後、写経、座談会を経て閉講式となりました。

記念の節目となる第五十回目のみちのく緑蔭禅のつどい。気負うことなく、これまで培ってきた経験を活かし、岩曹青の伝統を守り伝えることが出来た素晴らしい緑蔭禅のつどいであったと感じました。

◇ 第一回教養セミナー

『坐禅を実践する僧侶』

平成二十七年九月七日(月)、奥州市水沢区にある「日本一の茅葺屋根本堂」として有名で「奥の正法寺」の名称で親しまれている古刹、正法寺様を会場に平成二十七年、第一回教養セミナーが開催されました。

正法寺住職、盛田正孝老師を講師に『坐禅を実践する僧侶』と題し講義を行いました。盛田老師は昭和五十六年特派布教師として十三年間衆生接化の任に当たり、平成十八年には大本山總持寺後堂に就任。以降五年間僧侶の育成に尽力され、平成二十六年六月に正法寺の第五十九世として晋住されました。



〈正法寺住職 盛田正孝老師〉



〈老師の一言一句が胸に響く〉

師家である老師の講義を聴きに三十名の会員が集まりました。

老師は静かな口調ながらも、その一言に熱い思いを乗せて私たち青年僧侶に今何をすべきか問い掛けて下さいました。老師の言葉を一言も聞き逃すまいと参加者一同、真剣に老師と向き合いました。

最後に老師は専門僧堂再認可に向けての思いと僧侶として研鑽を深め共に修行に励む道場として今後も正法寺を訪れてほしいと話されました。

◇ 教区懇親会

『東日本大震災供養法要』

並びに災害支援活動座談会』

去る九月三十日、釜石大観音様に於いて第十教区様主催により平成二十七年年度教区懇親会が開催されました。

会員二十一名の随喜のもと東日本大震災供養法要並びに災害支援活動についての座談会が行われ、オブザーバーとして御参加いただいた三浦修悦老師、震災当時の岩手県曹洞宗青年会会長である新沼孝純老師のもと活発な意見交換がなされました。



〈震災当時を振り返り 災害支援活動について意見交換〉

平成二十七年年度 歳末助け合い寒風托鉢

平成二十七年十一月二十八日(土)、奥州市江刺区の光明寺様を会場に恒例の歳末助け合い寒風托鉢を行いました。会員十七名の参加を頂き、無事修行することが出来ました。



午後一時半、江刺岩谷堂の町並みを一望出来る高台にある光明寺様に集合。身支度を整え、本堂前にて托鉢道中の安全を願い諷経。午後二時、気持ちの良い青空の下、托鉢に出発。



参道を下ると、すでに何人もの方が浄財を手に托鉢僧の到着を待たれていました。土曜日という事もあり、沿道には子供たちの姿も見られ、小さな手から心温まる浄財を頂くことも出来ました。

托鉢途中、ホテルニュー江刺様の御厚意で休憩し後半の復路へ。夕日を浴びながら午後三時半、光明寺様に到着。本堂前にて諷経し托鉢の無事修行を報告。参加者一同、心地好い疲れを感じながら寒風托鉢を終えることが出来ました。また午後五時半より、水沢サンパレスホテル様にて懇親会も開催されましたことも併せて報告致します。



＜江刺社会福祉協議会へ
浄財 (53,609 円) を寄付＞

〒610-1104 京都市西京区大橋中山町2番地348
TEL.075-335-9737 FAX.075-335-3020

法衣全般の事なら、お任せください
新調から、クリーニング、修理まで

草桶

KUSAOKE

0120-88-3992

有限会社 草桶法衣仏具店

www.kusaoke.jp